

美 をつくし

MIWOTSUKUSHI

vol.179

平成25年(2013)3月1日 発行



色絵 ^{あかさらさ}赤更紗模様皿 九谷 富本憲吉(1886~1963)
昭和16年(1941) 本館蔵(辻本コレクション)

富本憲吉は大正15年に東京の祖師谷に転居した。東京時代には冬季は素地が凍るために、京都や信楽、九谷や波佐見などに赴いて、伝統的な技術を学びながら新しい独自性の高い作品を生み出していった。本器も九谷の赤絵技法の習得の中から生まれた作品。四弁花模様を面的な連続模様仕立てており、染織の模様のような印象を与えることから、富本本人が「赤更紗」と命名した。手描きの同じ模様の皿を40枚ほど作成したといわれている。



OSAKA CITY MUSEUM OF FINE ARTS

大阪市立美術館